



前期型のE55はW210から引き継いだSOHC3バルブの5.5ℓ V8ユニット+スーパーチャージャーを搭載。476psのパワーと71.4kg/mのトルクを発生、サスにはデュアルコントロールのエア式が採用される。しかし速いだけで高級感に欠けるといふ声もあり、06年にNAの6.2ℓから514psを得るE63へとチェンジし高級感ある走行フィールを実現している。

グリルはマットブラックにペイントされ、カーボンのフロントリップが装着されている。AMG専用ホイールもマットブラックにリペイントされている。E63AMGはエアサスペンションを搭載しているため、ロワリングキットとコンピュータ診断機による調整で程よいローダウンを実現している。

プロからのメンテナンスアドバイス!

パワーがあるからこそ基本メンテが大事

「エンジンのカムが痩せてしまうというトラブルはありましたが、それほど頻発しているわけではありません。オイル管理をしっかりしておくことがトラブル予防に繋がるので忘れずに実践してほしいですね。パワーがあるクルマなので基本的なメンテナンスがとても重要になります。以前に比べると安くなってきたE63なので買い時だとは思いますが、乗りっぱなしのクルマを選ぶと後々大変になるので注意が必要。専用品もありますが、ノーマルと共通の部品も多い。そのノーマルのW211もリーズナブルに買えます。後期型のエンジンは信頼性が上がっているので、定期的なコンピュータ診断を受けてセンサーや電子ユニットの状態を把握しておくことが重要だと思います」



E63にマッチングするカーボンパネルがなかったためワンオフで製作。カーボンの素材感にはAMGのインテリアとの相性が良い。クルマのキャラクターともマッチしているステアリングは革を巻き直してカーボン加工。シートスイッチはスワロフスキーで豪華な雰囲気。



ルーフスポイラーもカーボン化。ワンポイントでも非常に効果的なアイテムである。エンジンはノーマルのままで十分というのが江澤さんの意見。もちろん、メンテナンスはきっちりとされており本来の性能を発揮できるようになっている。



Car Life
08

メカニックの愛車拝見!
クルマ選びと維持

角目好きも納得の 新世代AMG

セントラルオートの工場長である江澤さんの愛車はW124型AMG E60だが、普段の足として所有しているのがW211型E63 AMGである。クルマ作りが大きく異なる角目世代と丸目世代だが、整備のプロはどう評価しているのだろうか。

●文=GERMAN CARS ●撮影=古閑章郎 ●協力=セントラルオート ☎048-930-6800

名車AMGE60との 2台体制を満喫している

本誌では四角いヘッドライトを持つ95年中頃までのメルセデスを角目とすると、それ以降(W211まで)を丸目世代と呼んでいる。クルマ作りの思想が異なることから、この角目と丸目を境にユーザーの好みも分かれている。

埼玉県八潮市にあるメルセデス・ベンツ専門修理工場セントラルオートは、新旧問わずメルセデスのことなら何でもお任せの修理工場。工場長である江澤さんは業界歴も長く、こ

れまでたくさんさんのメルセデスを乗り継いでいる。現在の愛車はW124型AMGE60だが、もう一台普段の足として乗っているのが06年式のW211型E63AMGである。江澤さんは角目世代と丸目世代のAMGを所有していることになる。

ここで紹介するのは、丸目のW211。フロントヤリアにカーボンパーツを装着し、ボディはGクラスに設定されているシトリンブラウンにリペイントされ独特な雰囲気を出している。インテリアに装着されるカーボンパーツはワンオフで制作したもの。ページの衣装とのマッチングも良い。純正のエアサスペンションが備わる足回りは、ロワリングキットでローダウンしているのみ。エンジンもオリジナルをキープしている。

「ノーマルのままで十分に速いので、本来の性能をどれだけ引き出せるかを重視してメンテナンスしました。これまで大きなトラブルはなく、安心して乗っていただけるクルマですね。E60とは全く違うクルマとして

接していて、どちらがいいかという話でもないと思っています。味わい深いのはやはりE60ですけど、だからといってE63がダメなわけでもない。エンジンはNAのクローズドデッキになってフィリングが格段に良くなったし、乗ればメルセデスらしさを感じられる。自分の感性に合うか、合わないかで言うならこのE63も納得して乗っていますよ」

好きで乗っているなら角目でも丸目でも正解であって、優劣を付けるものではないというのが江澤さんの考え。確かにE60は名車と言える存在。AMGのメカニカルチューンの結晶とも言えるV8エンジンのフィーリングは何か代え難い魅力に溢れている。偶然にもE63にはクローズドデッキを持つNAのV8が搭載されている。往年のAMGをよく知る江澤さんも納得のフィリングを持っているからこそ、2台体制で所有しているのだと思う。食わず嫌いのではなく、体感してみることで見えてくる世界は必ずあると話してくれた。

